令和7年2月定例月議会

当初補正予算参考資料

1.	一般会計
	【土木費】
	・【国1次補正】四日市あすなろう鉄道運行事業費・・・・・・・・・・・・4
	【教育費】
	・【物価高騰対策】四日市市奨学金・・・・・・・・・・・・・・・・5
2.	特別会計
	国民健康保険特別会計
	・国民健康保険特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

【国1次補正】四日市あすなろう鉄道運行事業費

1. 目的

四日市あすなろう鉄道の第三種鉄道事業者として、日々の線路・電路・車両の維持管理等を行うとともに、鉄道施設の更新を計画的に行うことで安全運行を図る。

2. 内容

国の第1次補正予算に伴い、令和7年度当初予算で計上していた事業のうち、以下の事業について令和6年度に前倒して計上するため、減額補正を行う。

項目	事業内容	事業費 (千円)
車両の検査	定期検査(4両)	△46, 693

3. 補正予算額

△46,693千円

(財源内訳) 国庫支出金(1/3) $\triangle 15$, 564千円 県支出金(1/6) $\triangle 7$, 782千円 一般財源 $\triangle 23$, 347千円

物価高騰 対策

四日市市奨学金

1. 目的

子育て家庭の経済的負担を軽減するため、経済的理由から修学が困難な高校生、 大学生等を対象とした奨学金を支給することで、より多くの意欲ある学生が進学を 選択できるようにする。

2. 内容

令和7年度奨学生の募集を行ったところ、79人(高等学校等34人、大学等45人)の応募があった。当初50人の採用を予定していたが、国の補正予算による物価高騰対策(地方創生臨時交付金措置)が実施されることとなり、これを受けて実施する本市の対策の一環として、応募者全員の採用が可能となるよう令和6年度予算の増額補正を行った(2月議会先議)。

これに合わせて、令和7年度当初予算も増額補正を行う。

制度の概要と応募状況(令和7年度の新奨学生)

型 入学支度金(給付・新入学生に限る) 要		高等学校等 40,000円	大学等 50,000円	令和6年度中に支給	
学金の構	月額奨	(1/2給付)	高等学校等	大学等	令和7年度から支給
成	学	(1/2貸与)	月額12,000円	月額24,000円	节和/牛及かり又和
	金	※返済時に市内在住なら返還免除			
	令和7年度奨学生応募状況		34人	45人	R6. 12. 2~12. 25募集
(うち新入学生)		(32人)	(40人)	定員50人(各25人)	

3. 補正予算額

7, 056千円 (財源内訳) 国庫支出金 (10/10) 7, 056千円

(補正前) (補正後)

○月額奨学金 高校等 144千円 × 25人 → 34人

大学等 288千円 × 25人 → 45人

国民健康保険特別会計

1. 目的

国民健康保険法施行令の一部改正(令和7年4月1日施行)に伴い、四日市市 国民健康保険条例を一部改正し、保険料の賦課限度額の引上げ及び保険料の軽減 対象世帯に係る判定所得基準額の引き上げを行う。これに伴い、令和7年度当初 予算のうち、関係する部分を補正する。

2. 内容

(1)保険料の賦課限度額の改定(条例第13条の6、13条の6の10)

【歳入補正額】19,376千円

基礎賦課等に係る賦課限度額を引き上げる。

項目	改正前	改正後
基礎賦課限度額	65万円	66万円
後期高齢者支援金等賦課限度額	24万円	26万円
介護納付金賦課限度額	17万円	17万円
計	106万円	109万円

(2)保険料の軽減対象世帯に係る所得判定基準の改定(条例第17条)

【歳入補正額】△9,369千円

軽減	改正前	改正後	
割合	ATIN.		
5	43万円+ <u>29.5万円</u> ×(被保険者	43万円+ <u>30.5万円</u> ×(被保険者数	
割	数+特定同一世帯所属者)+10万円	+特定同一世帯所属者) + 1 0 万円×	
剖	×(給与所得者等の数-1)	(給与所得者等の数-1)	
2	43万円+ <u>54.5万円</u> ×(被保険者	43万円+ <u>56万円</u> ×(被保険者数+	
割割	数+特定同一世帯所属者)+10万円	特定同一世帯所属者) + 1 0 万円×(給	
	×(給与所得者等の数-1)	与所得者等の数-1)	

3. 繰入金への影響

(単位:千円)

	令和7年度 当初予算額	所要見込額	補正額	備考
一般会計 繰入金	1, 963, 478	1, 981, 489	18, 011	軽減対象の判定所得基準 額の引き上げ

4. 補正予算の内容 (一般会計及び国民健康保険特別会計)

